

631号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会 西部地域畜産経営技術推進指導協議会 2021.12.10
富山県東部家畜保健衛生所 富山県西部家畜保健衛生所

防疫対策の強化を！ 高病原性鳥インフルエンザ 国内において相次いで発生 …………… 1	家畜人工授精用精液等の不正流通の防止について … 5
国内 HPAI 発生状況 …………… 2	子牛の下痢に注意！ …………… 5
家畜伝染病発生に備え地域防疫演習で連携強化 … 3	防疫情報 …………… 6
畜産環境保全強化巡回実施中 浄化槽管理のポイント …………… 3	「食品安全フォーラム in とやま ～食品の安全を守る取組みについて考えよう～」 を開催しました …………… 6
第46回 TOYAMA Black&White Show開催される … 4	お知らせ …………… 6
祝 酒かすで育った「とやま和牛」が 農林水産大臣賞を受賞！ …………… 4	年末年始の死亡牛検査受付 対応について …………… 6

防疫対策の強化を！

高病原性鳥インフルエンザ 国内において相次いで発生



養鶏場での消石灰散布と防疫対策の確認

11月10日、秋田県横手市の採卵鶏農場において、今シーズン初めて家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ（以下HPAI）の発生が確認されました。その後、鹿児島県、兵庫県、熊本県、千葉県、埼玉県および広島県の7県において本病の発生が相次いで確認され、全国的に発生リスクが高まっています。（関連記事 2、6 ページ）

（東部家保環境課 稲畑課長）

国内 HPAI 発生状況

<家さんは7県8事例>

11月10日、秋田県横手市の採卵鶏約14.3万羽を飼養する養鶏場において、国内1例目となるHPAIの発生が確認されて以降、7県8事例の発生が確認され、これまでに約46万羽が殺処分されました。

本年度は、宮崎県および鹿児島県において、野鳥糞便等からHPAIウイルスが検出されており、渡り鳥が池、干潟等に飛来するこの時期は全国的にウイルスが持ち込まれる可能性が高く、全国いずれの地域においても発生リスクがあります。

これまでの今シーズンの発生事例においては、昨シーズンと同様に農場近隣および農場内にため池等の水場が確認されています。水場周辺においては、水場に飛来した野鳥が持ち込んだウイルスの量が環境中で高まっていることが想定されることから、特に水場近くにある養鶏場においては、最大限の警戒をするとともに、すべての養鶏農家の方々には、下記の点について、徹底をお願いします。



(出典：農林水産省ホームページ (一部加工))

1. 早期発見・早期通報について、死亡率が2倍以上となることを通報の目安の1つとしてきたところですが、死亡率が2倍未満の場合であっても、まとまって死亡している、元気がない、餌食いが悪い、沈うつ等といった通常と異なる症状が認められる場合でも早期通報を徹底するために、日頃から綿密な飼養鶏の健康観察をお願いします。

2. 秋田県および鹿児島県においてH5N8亜型、鹿児島県、兵庫県および熊本県においてはH5N1亜型のHPAIが発生しており、異なる由来のウイルスが全国各地に侵入している可能性が示唆されることから、国内のどこで発生してもおかしくない状況であり、引き続き警戒を怠ることのないよう留意してください。

HPAIウイルスから農場を守るために、我々が現場でできることは、毎日の衛生管理の徹底に尽きます。県内養鶏農家の皆様には、畜舎に出入りする際の衣服・長靴の交換、防鳥ネットの点検および破損箇所の修繕に加えて敷地への石灰散布等による野生動物侵入防止対策に万全を期しましょう。(詳細は農水省ホームページ「飼養衛生管理基準」)



農水省 飼養衛生管理基準

<野鳥は6事例>

現在、国内における野鳥での高病原性および低病原性鳥インフルエンザ発生は6事例で、対応レベル3となっています。(レベル3：国内複数箇所発生時 (令和3年11月11日から継続中))

事例	個体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1	北海道旭川市	10/26	マガモ	LPAI	H5N3
2	鹿児島県出水市	11/8	環境試料 (水)	HPAI	H5
3	宮崎県宮崎市	11/9	糞便	HPAI	H5N1
4	鹿児島県出水市	11/19	ナベヅル	HPAI	H5N8
5	鹿児島県出水市	11/22	環境試料 (水)	HPAI	H5N8
6	鹿児島県出水市	11/22	環境試料 (水)	HPAI	H5N8

※LPAI:低病原性鳥インフルエンザ (出典：環境省ホームページ)

野鳥との接し方について (詳細は環境省ホームページ「高病原性鳥インフルエンザに関する情報」)

- ・同じ場所でたくさんの野鳥などが死亡している場合には、県自然保護課や市町村役場にご連絡ください。
- ・死亡した野鳥は素手で触らないでください。
- ・野鳥の糞が靴や車両に付くことにより、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがありますので、野鳥に近づきすぎないように注意して、必要に応じて消毒してください。
- ・不必要に野鳥を追い立て、つかまえようとするのは避けてください。
- ・野鳥は、エサが取れずに衰弱したり、環境の変化に耐えられず死んでしまったりすることがあります。野鳥が死んでいても、鳥インフルエンザを直ちに疑う必要はありません。



環境省 高病原性鳥インフルエンザに関する情報

(東部家保防疫課 笹原主任)

家畜伝染病発生に備え地域防疫演習で連携強化

10月号では、県関係機関や市町村および関係団体等をオンラインでつなぎ開催した令和3年度家畜伝染病防疫演習を紹介しましたが、県全体で実施する本演習の他、家畜保健衛生所では、例年、冬鳥が本格的に飛来するシーズンを前に個々の関係機関と地域防疫演習を開催し、連絡体制や初動対応の確認を行っています。

今年度は、富山市と各農林振興センター（富山、新川、高岡、砺波）で個々に開催し、万一の家畜伝染病発生時の防疫対応について情報共有を行うとともに、連携強化を図りました。

富山市との防疫演習は、10月29日に開催し、座学では越境性動物疾病の発生状況や高病原性鳥インフルエンザ発生時の市職員の主な業務について確認しました。

実技では、まん延防止のため、また自らの身を守るため重要な防護具着脱を行い、正しい手順と留意点の確認を行いました。

また、各農林振興センターとの防疫演習は11月に順次開催し、昨シーズン本県で発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応の経過報告と、その際に確認された課題や問題点を受け、見直しを行った防疫体制について共有しました。加えて、新たに作成した「防疫作業従事者のしおり」を解説し、防疫作業の行程や留意事項を共有しました。

今年度も国内の養鶏場等で既に8事例の高病原性鳥インフルエンザが発生しており、本県の発生リスクも非常に高まっています。万一の際に、迅速かつ円滑に防疫対応を行えるよう、今後も関係機関と連携を密にし、強固な防疫体制を構築したいと思います。

(東部家保防疫課 水木係長)



実技演習の様子

畜産環境保全強化巡回実施中 浄化槽管理のポイント

家畜保健衛生所では、10月から養豚農家を対象に、畜産環境保全強化月間巡回を実施しています（西部家保管内は11月に実施）。東部家保管内では、家畜排せつ物法の管理基準の遵守状況の調査に合わせて、浄化槽を設置している農場について水質検査も併せて実施しています。多くの農場では、活性汚泥法による浄化処理を実施していますが、注意すべき主な管理方法について以下の点についてまとめましたので、参考にしてください。

- ・活性汚泥は高温で良く動き、低温で動きが落ちると考えられるので、気温の下がる時期には、曝気槽での活性汚泥濃度が高めになるように管理する（MLSS：秋冬は6,000～8,000mg/L、春夏は4,000～5,000mg/L）。また、低温時には曝気量を増やし、活性汚泥微生物を元気な状態に保つ。
- ・雨水と豚舎汚水と可能な限り分離する。大量の雨水等が直接あるいは間接的に浄化槽に流れ込んでしまうと、十分な曝気処理ができない恐れがあるので、集水ます等の蓋の設置や雨水の流れ込みを防止する対策を実施する。
- ・飼料が浄化槽に流れ込むと、ふん尿を処理するよりも負荷が大きくなる。できるだけエサこぼれが少なくなるように管理する。
- ・急に管理方法を変更すると、配管の詰まりなど、浄化槽内での各種トラブルが発生することも考えられるので注意が必要。

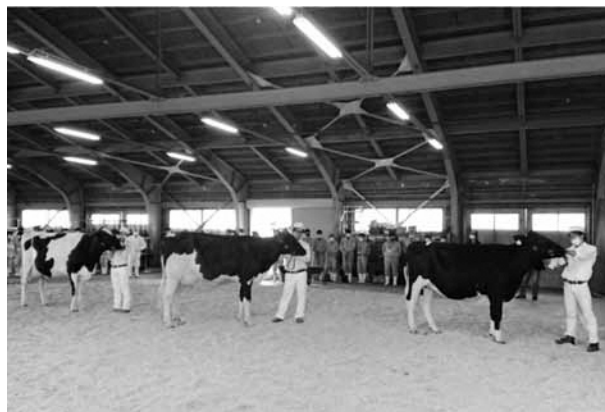
畜産農業には、水質汚濁防止法に基づき硝酸性窒素等の排水規制が適用されています。本法に基づく特定施設の届出書に記載されている排出水の水質項目については、1年に1回以上の測定と記録の3年間の保存が義務付けられていますので、再度確認願います。

(東部家保環境課 米澤主任)

第46回 TOYAMA Black&White Show 開催される

令和3年11月10日(水)、第46回 TOYAMA Black&White Showが富山県乳牛協会主催のもと富山県立中央農業高等学校で開催されました。当日は、審査員に一般社団法人ジェネティクス北海道の松田亮介氏をお迎えし、3つの出品区分に分かれ審査が行われました。

審査結果は下記のとおりです。グランドチャンピオン、リザーブチャンピオンには両頭とも(株)たちらさんの飼養牛が選ばれました。受賞された皆様、おめでとうございます。



左から リザーブチャンピオン((株)たち)、グランドチャンピオン((株)たち)、未経産(青沼光)

出品区分			賞	受賞者氏名	乳器賞	備考
部類	月齢					
1	未経産		優等	青沼 光		
2	経産	ジュニア	優等	(株)たち		グランドチャンピオン
3		シニア	優等	(株)たち	○	リザーブチャンピオン

(東部家保健疫課 中村主任)

祝 酒かすで育った「とやま和牛」が農林水産大臣賞を受賞!

11月26日、(株)富山食肉総合センターにて、令和3年度富山県畜産共進会(肉牛の部<枝肉>)が開催されました。

今年度は、和牛27頭、交雑種24頭の51頭が出品され、優等賞1席・2席(下表)、1等賞1席・2席を和牛及び交雑種で4頭ずつの計8頭が受賞しました。和牛の優等賞1席(農林水産大臣賞)は、みな穂農協管内の柏慶太さんが受賞しました。受賞牛の格付けはA-5-12、枝肉重量577.0kg、ロース芯面積91cm²、ばらの厚さ9.7cmという極めて良好な結果でした。なお、この牛は、県肉用牛協会や県酒造組合、県が連携して新たなブランド化に取り組んでいる、酒かすで育った「とやま和牛」であり、本ブランドは来年度からの本格デビューを目指しています。

また、交雑種の優等賞1席(北陸農政局長賞)は、みな穂農協管内の(株)ファーム谷口さんが受賞しました。受賞牛の格付けはB-5-8、枝肉重量497.5kg、ロース芯面積52cm²、ばらの厚さ7.6cmという見事な結果でした。

受賞した8頭の枝肉は、いずれも審査員から高い評価を受けました。受賞された皆様、おめでとうございます。

【優等賞受賞結果】

出品部類		席次	農協名	受賞者氏名 (敬称略)	褒章名
類別	性別				
和牛	去勢	1	みな穂	柏 慶太	農林水産大臣賞
	去勢	2	氷見市	谷島 正市	
交雑	去勢	1	みな穂	(株)ファーム谷口	北陸農政局長賞
	去勢	2	みな穂	柏 慶太	

(広域普及指導センター 松原主任普及指導員)

家畜人工授精用精液等の不正流通の防止について

令和2年10月1日に、我が国の宝である和牛の遺伝資源を保護するために「家畜改良増殖法」が改正されるとともに、「家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律（家畜遺伝資源法）」が制定されました。農林水産省では、これらの法令遵守の徹底等を図るために、家畜人工授精所等への立入検査を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、立入検査の代替として自己点検の実施・報告を行うこととしていたところです。

このような中、今般、家畜人工授精用精液証明書が添付されていない家畜人工授精用精液を入手し、さらに当該精液を採取した種雄牛の使用済みの家畜人工授精用精液証明書を入手することにより、これらを用いて家畜体内受精卵を生産し、不正流通させた事案が判明した旨、農林水産省から通知がありました。家畜遺伝資源の不正流通が疑われる事案については、今後とも家畜改良増殖法に基づく立入検査などを実施し毅然とした対応をとる方針も示されていますので、獣医師・家畜人工授精師・牛の飼養者の皆様には、特に下記の点について管理の徹底し、家畜人工授精用精液等の不正流通の防止の徹底をお願いします。



Point



Check!

獣医師・家畜人工授精師の皆様へ

- ☑ 正しい証明書が無い精液や受精卵は譲渡（販売等）、使用（注入・移植）することはできません。
- ☑ 精液の注入後に交付する授精証明書や、体内受精卵の生産時に発行する家畜体内受精卵証明書等へは、使った精液の情報などを正しく記載する必要があります。
- ☑ 精液や受精卵は、使用可能な範囲や目的等を守って販売・使用してください。

牛の飼養者の皆様へ

- ☑ 家畜人工授精所で保存されていない精液や受精卵は譲渡（販売等）、使用（注入・移植）することはできません。
- ☑ 正しい証明書が無い精液や受精卵を譲渡（販売等）、使用（注入・移植）することや、証明書のみを他人に譲渡することはできません。
- ☑ 精液や受精卵は、使用可能な範囲や目的等を守って使用してください。

（東部家保環境課 米澤主任）

子牛の下痢に注意！

近頃は気温もグッと下がり、子牛にとって体調管理の難しい時期となってきました。本格的な冬の到来に向け、子牛の疾病対策は万全でしょうか。今回は子牛の下痢症について紹介します。子牛の下痢症は新生子牛が罹る病気の中でも呼吸器病に次いで損害率が高く、大きく感染性下痢（細菌、ウイルス、寄生虫など）、非感染性下痢（消化不良性、神経性など）に分けられます。通常はいくつかの原因が合併して発症することが多いですが、今回は細菌性下痢に注目してみたいと思います。細菌性下痢は 大腸菌、サルモネラの2種類の原因が代表的です。以下にその特徴を示します。

原因菌	便性状	色調	発症時期
①大腸菌 ・毒素原性大腸菌 (ETEC) ・ベロ毒素産生性大腸菌 (VTEC) など	泥状～水様	灰白～黄白色	生後2週齢以内
②サルモネラ ・S. Typhimurium, Dublin, Enteritidis など	泥状～水様	黄灰白色	生後4週齢以内

下痢症の予防には初乳の十分な給与、清潔な飼育環境の維持およびストレス対策等が有効です。こまめに便を観察し、お困りの際は管轄家保までお気軽にご相談ください。

（東部家保検査課 竹中獣医師）

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

高病原性鳥インフルエンザ (法定伝染病)

(12月7日現在)

事 例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	血清型
1	11月10日	秋田県横手市	採卵鶏	約14.3万羽	H5N8
2	11月13日	鹿児島県出水市	採卵鶏	約3.9万羽	H5N1
3	11月15日	鹿児島県出水市	採卵鶏	約9,200羽	H5N8
4	11月17日	兵庫県姫路市	採卵鶏	約15.5万羽	H5N1
5	12月2日	熊本県南関町	肉用鶏	約6.7万羽	H5N1
6	12月5日	千葉県市川市	あひる	約340羽	N5
7	12月7日	埼玉県美里町	採卵鶏	約1.7万羽	検索中
8	12月7日	広島県福山市	採卵鶏	約3万羽	検索中

豚熱 (法定伝染病)

(12月5日現在)

事 例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備 考
74	11月26日	群馬県桐生市	豚繁殖農場	約2,400頭	ワクチン接種地域であるため、制限区域は設定しない

県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病 名	畜 種	発生日	戸 数	頭羽数	備 考
山羊の消化管内線虫症	山羊	10月14日	1	1	
		11月20日	1	1	
豚丹毒 (届出伝染病)	豚	10月22日	1	1	と畜場発見
		11月12日	1	1	と畜場発見
牛パストレルラ症	牛	10月29日	1	1	
牛ロタウイルス病	牛	11月1日	1	1	
牛トロウイルス病	牛	11月16日	1	1	
牛コクシジウム病	牛	11月21日	1	1	

「食品安全フォーラム in とやま～食品の安全を守る取組みについて考えよう～」を開催しました

富山県では毎年、食の安全に関するリスクコミュニケーションの一環として、食品安全フォーラムを開催しています。今年度11月1日(月)、パレブラン高志会館カルチャーホールで、「食中毒」および「食品安全の世界の流れ・管理規格」をテーマに、以下の基調講演が行われました。

講演1 「知って防ごう食中毒」

(内閣府食品安全委員会委員長 山本茂貴 氏)

講演2 「世界の食品安全の流れと日本発・食品安全マネジメント規格「JFS規格」

(一般財団法人食品安全マネジメント協会 (JFSM) 事務局長 小谷雅紀 氏)

なお、詳細につきましては、とやま食の安全・安心情報ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

(農産食品課 槻尾主任)



富山県 食品安全フォーラム in とやま

☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
定期種畜検査	12月15,16日	富山市
北陸三県和牛子牛市場	12月23日	北陸三県家畜市場 (金沢市)

* 年末年始の死亡牛検査受付対応について

家畜保健衛生所は、12月29日(水)～1月3日(月)は閉庁となりますが、死亡牛検査は12月29日(水)、30日(木)および1月3日(月)の午後は受け付けいたします。なお、搬入は午後1時～4時をお願いします。

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6

電話(076)479-1106 FAX (076)479-1140

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/index.html

編集者 稲畑 裕子 (富山県東部家畜保健衛生所)

